



## 2008/09 WEEKLY BULLETIN

国際ロータリー第 2790 地区第 3 分区 B

# 市原ロータリークラブ会報

第 2177 回例会 2008 年 7 月 22 日(火) SAA / 常滑会員 会報担当 / 三宅会員

例会会場 五井グランドホテル 市原市五井 5584 - 1 事務局 TEL 0438-38-3535



### <ガバナー公式訪問> 市原 RC, 市原中央 RC 合同

会長挨拶 市原 RC 会長 藤谷泰弘



幹事報告 幹事 小川長二

7/26(土)「クラブ奉仕合同セミナー」幕張メッセ国際会議場にて開催されます。

卓話 崎山 征雄 ガバナー



皆さんこんにちは。

先日 RI 会長会議で、D.K.Lee 会長は「日本が頑張っても貰わないと困るんだ」要するに今、日本はよくアメリカがナンバーワンと言っています、しかし人数的にも財团的にもそうなんです、今ウカウカしているとインドにも追い越されちゃいますよ。それでは韓国もやってられませんよ。韓国は日本を先生と仰いでやってきたんですから、もっと頑張らなければならないんです。だから一割以上を増員しなくてはならない、という話を一生懸命していました。

昨年度市原合同公式訪問の成果を今回合同でやるわけですけれども非常に役に立ちました。

合同公式訪問の実施というのは 2000~01 年鈴木ガバナーの時代からの導入で、私はガバナー補佐をさせていただきまして、それと同時に公式訪問を合同でやるという

話を鈴木さんにされたわけです。私はその時素直にその主張を全面的に取り入れまして、多分 14 人のガバナー補佐の内が一番頑張ったと自負致しております。そういった意味では、非常に鈴木さんに褒められたという記憶がございます。そして昨年、白鳥パストガバナーのもとで地区の改革の荒波の中でまさに実践で教わったので、本当に白鳥さんありがとうございました。いろんな意味で私は市原に育てられたガバナーで、自分で育ったんじゃない、市原が私を作って頂いた。市原がいなければ私はここにいなかった、そのくらいの感覚でやっております。

そういった意味では合同公式訪問の有効性は逆に冴えたわけですがけれども、ただ言いたいのは、これは時代の流れですから、今のロータリーの中で合同がいいかどうか、それは何かというときにいろんなこういう大勢の 50 人規模のクラブと合同でやるのがいいかどうかと、ちょっと疑問がありますけれども、少なくとも今、平均 37 人それと平均 20 人以下のクラブの中で単独でやるよりは 2 クラブ参加でやったほうが「お互いの顔が見れるのもっと活気が出るんじゃないかな？」というふうに思って合同なんです。ただ、10 年後にどうなるのか、そのときの世界的な状況にもよると思いますが、現在世界的な環境で間違いなく大きく変化していきます。

ロータリーというのは理念があります。特に日本のロータリーには変えてはいけない理念があるんです。そして今回私の公式訪問の目的というのはみなさんがその理念を大事にしてどのように追求して楽しんでいるのか、ここに出席させて頂いてみなさんの顔を見てお話をさせて頂いて、ロータリーがこんなに楽しい、素晴らしいですとやって参りました、ということです。

では、ロータリーの方針って一体何でしょうね。最近ではロータリーの財団なのか、財団のロータリーかわからないから、はっきり説明してくれ、と言われまして、クラブというならば、最近のロータリーには国内一の財団ロータリーなんだ、財団に対して説明していただくとみなさんによくわかりやすいんじゃないかなと私自身

いろんな意見でいろんな先輩によくそんな話をよくしていただいています。

さて、ロータリーの方針で何でしょう、ロータリー原点というのは四大奉仕ですね、まずクラブ奉仕。これは一番分りにくいのはクラブサービス、職業サービスです。クラブサービスというのはこれは出席そのものです。クラブに出席する、出席で環境を作る、出席したみなさんとお話する、そういったことがクラブサービスです。それがまず最初になければならない。それが根っこです。それから職業サービス。Vocational Services 何かというと、天職これは天が与える職業ということと確かにいわれますけれども、Vocational Services は大事です。自分の仕事を大事にする、そのためには人の仕事を大事にしなければならないということ学ぶ、そこから初めて思いやりの心を自分の仕事に対するプライド。そうすると当然自分の仕事を理に叶ってやるならば、当然成功しますよ。そして成功した方々がここに集まっているんですよ。というふうに私は決め付けてますけど、でも成功しない方がロータリーに入っているわけがない。その成功するってことが当然、お金・財産が貯まる。貯まったものをただ貯めるのではなくて、貯まった一滴一滴を社会奉仕、国際奉仕、財団、米山へ出していこうというのが本当のロータリーの裏付になると思います。

共有化の推進ということを考えています。情報推進、そのために我々がバナー34人いますけど、34人の間でメーリングリストを作りまして、いろんな情報を今どういうことをやっている、公式訪問はこうだよ、北海道はどうですか、九州はどうですか、という情報交換をやっているんですよ。

同じように今、うちの2790地区で会長専用のメーリングリストを作っております。ぜひ参加して会長の悩み、希望、情報交換をしてください、それで自分のポジションがわかる、そのクラブの表情がわかる、というものです。そういうことをやることによって、クラブエネルギーというのが高まって本当に有意義にロータリーができますよと考えています。

今年はD.K.Lee会長のテーマで、“Make Dreams Real” 夢をかたちに 水、保健と飢餓救済、識字率の向上そし

てポリオの絶滅 これはなぜかといいますと、一日3万人の5歳以下の子供達が毎日死んでいくというのを最近聞いて、この前の国際大会ではお陰様で2万5千人に減りました。たった半年間で。でも間違いなく1日2万5千人が死んでいるんです。こんな馬鹿な話はないでしょう。子供を殺さずに、みなさん努力してくださいよ、ということで、救済問題に大きく光を当てたそういう事業をやってくださいというのがD.K.Lee会長の強い気持ちです。我々日本人としては日本ではそんなことはないよという話をするんですが、でも、振り返って頂ければ、社会現象の中で子供にチャイルドシートをしないばかりに死んでる子供もいますが、5人でも10人でも、全部を救えることはなくても、そういう子供のなかに日本の将来を背負える子供もいるかもしれない。ですから、Make Dreams Real 夢をかたちに なんです。死んでしまうべき子供を救うことによって、そういう子供の夢をかたちに

それって素晴らしいことじゃないでしょうか。それを原点に私は今、日本人として言いたいのは、そういうことをロータリーは親しみの集まりということを念頭に置きながら、日本人の和の心を支える精神を抱いていきます。古来日本人のころにある倫理道ですよ。ヨーロッパでいう騎士道ですけども、いずれも恥を知るころ、小さい弱いものを大事に守るころ、大きいものに背を向けない、逃げない古きよきころを大事に守る、それがロータリアンとおなじボランティアになるのではないのでしょうか。

日本でもそうですけど、幸せとは仕事を合せるというふうですが、合せとかいて幸せというふうで、職業奉仕の延長線上にあるんですよ、ということを1945年にシエルドンがおっしゃった。

私の同郷の社長で9千億円の年商をあげた企業がある。ただ、営業利益が平成10年に7%から3%へ。これではいけないということで全員が危機感を持って経営改革をやるうということ、工場を全部中国へ移して、販売店は直営にしてやっていったんです。そして社員のリストラはゼロに、社長就任3年間でいろんなことをやった。しかし、ほとんど人はついてきてないので何でだろうといういろいろ調べたら、社長が全面にでて、(みなさんの会社もそうでしょうけど、)フリートキングをやるうとすると、一番元気があるのは平ですよ。

平が社長と対等で物が言える、そうするとミドルマネジメントつまり中間管理職が浮いてきちゃう。そうすると俺達は何なんだろうとやる気がなくかっちゃう。そこで初めて 1500 人の中間管理職にもう一回鍛えなおしましょう、1500 人が合宿を行って研修してようやく改革が身になったという話でした。つまり何が言いたいかといいますと、改革というのは、組織の形を変えるばかりではできないことなんです。CLP もそうです。要するに組織全体、人間全体の意識が何を変わるかということなんです。どう考えたかということが大事なんです。

これもロータリーの価値観と似ているわけでありませうけれども、近江商人が曰く、「売り手良し、買い手良し、世間良し」と三方良しという言葉があります。

悪の習慣を多く持つことが悪人となる いいことの習慣を多く持つことが善人となる、善人が悪人に負けたこともあります、長い間には善悪を立ててやってるひとが勝つ。

これを信じてやっていかなければなりません。この話を聞いて思い出したのが去年はミートホープに始まって船場吉兆で終わってしまった。けれども、こういうことはロータリーにあってはならないこと。根っこに根ざすものは倫理観。

武士道の道徳の高さ、大和魂を表現する素晴らしい歌がありまして・・・

「しきしらべ やまこころをひとつわがみ あさひみようよ やまざくら」

もうひとつ吉田松陰の歌で

「かくすれば かくなるものとしりながら やるにやまれぬ大和魂」

これが大和魂であって武士の精神であってロータリースピリッツがここにある。特に日本人はこれを信じてやってきたというふうに考えます。

最後にガバナー会の報告しますと日本がゾーン 1 からゾーン 4 までありました。これが人数の関係で 3 ゾーンに減りました。3 ゾーン以下になるとガ RI 理事が出せなくなるので必死になって食い止めている。そしてガバナー会で今何が起きているのかと言いますと、我々 34 人のガバナーが集まりまして改革に取り組んでいます。いろいろなものは廃棄して新しいものに切替ようということなんです。一番取り組んでいるのは青少年問題です。

RI も新世代問題に非常に熱心に取り組んでいます。最後に企業における新世代の育成にもっともっと取り組んで頂けるようお願いして終わりにさせていただきます

## ニコニコ・ソーリーボックス

### 齋藤博会員

崎山ガバナーの御来会を歓迎して

### 白鳥会員

崎山ガバナー公式訪問ご苦労様です。宜しく申し上げます。

### 三木会員

ガバナー公式訪問ありがとうございます。

### 藤谷会長・小川幹事

崎山ガバナー、長塚ガバナー補佐、清水地区幹事のご来会を歓迎します。これからもご指導宜しくお願い致します。

## 出席報告

前々回確定 100% 本日出席者 29 名

本日欠席者 20 名 本日出席率 59.2%

## コラム・ロータリー

ロータリーの社会奉仕活動について、クラブとして、何をしているか見えていない、と言う声がありますが、そう心配することはないでしょう。本来、ロータリーの奉仕の基本は、アイサーブ(個人奉仕)なのです。クラブの顔が見えなくとも、個人奉仕をしている会員が多数います。事例の一つを紹介しましょう。

当会の羽良好子会員が理事として活躍している<川を美しくする会>です。岡本良一会長。主な活動は、川の清掃活動と共に養老川下流に、1000 本の桜を目指した植樹活動です。方法が心憎いまでのアイデアです。河津桜の里親制度と言って、個人が一本 20,000 円で参加、孫の誕生、入学、卒業祝い、など、思い出になることを看板に、個人名、記念名、年月日を書き添え、植樹した桜と共に、その思い出を記念として残していこうと言うものです。市原クラブの多くの会員が個人奉仕をしています。数年後は、伊豆の河津桜に匹敵する名になること疑い無しです。(常泉健一)